

令和6年度「建設専門業の経営革新支援研修会」企画書

(一社)建設産業専門団体連合会

1. 開催目的

我が国の建設産業は、過度な安値受注や元請による指値発注等により、専門工事業者や技能労働者はそのしわ寄せを受けてきており、それが若年入職者の減少や担い手不足、就労環境の悪化等といった問題に直面してきた。

そのような状況の中、本年6月に第三次・担い手3法が成立し、この法律によって、適正な労務費の確保と行き渡りを図り、資材高騰分の転嫁対策を強化することで、技能者の処遇改善に取り組む仕組みが整備された。

また、建設業界においては外国人技能実習生の受け入れが盛んになっており、担い手の重要な一部となっている。

このたび、専門工事業の経営改善や担い手確保の促進を図るための方策等について認識を深めること等を目的として、標記研修会を開催するものである。

2. 研修会の開催概要

- ① 開催時期 令和7年1月～2月
- ② 開催場所 全国10地区（地方整備局等所在都市）
- ③ 開催時間 午後2時間程度（【別紙2】参照）

3. 研修会の内容（予定）

(1) 開会挨拶（約5分）

地区建専連 会長等

(2) 研修内容（※地区建専連の要望で若干の変更の可能性あり）

①「最近の建設業行政/適正な労務費等の確保のための標準労務費の活用について」（50分）

講師：国土交通省、各地方整備局等

———（休憩10分）———

②「外国人技能実習生受け入れ事業について」（40分）

講師：建専連事務局またはOSセルナジャヤほか

(3) 講演（10分）

講師：元近畿地方整備局長 見坂茂範 氏

(4) 連絡事項（約5分）

建専連事務局